

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公表番号】特表2016-510400(P2016-510400A)

【公表日】平成28年4月7日(2016.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-021

【出願番号】特願2015-551658(P2015-551658)

【国際特許分類】

G 01 S 7/02 (2006.01)

G 01 S 7/28 (2006.01)

G 01 S 7/03 (2006.01)

H 04 B 7/10 (2006.01)

【F I】

G 01 S 7/02 216

G 01 S 7/28 220

G 01 S 7/03 220

H 04 B 7/10 A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年7月11日(2016.7.11)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のアクティブ両面フェーズドアレー(A P A s)を有するレシーバー/トランスマッターであって、トランスマッター/レシーバーモジュールを有し、各トランスマッター/レシーバーモジュールは、2個の放射素子、トランスマッター、2個のレシーバー、2個の絶縁スイッチ、ミキサー、移相器を備え、前記複数のアクティブ両面フェーズドアレーは、一次元または二次元として製作され、これらは全方位の監視が継続的に可能となるように、水平面とのなす角度が75~105度になるように配置され、トランスマッター/レシーバーモジュールには追加の移相器が備えられ、前記両移相器のそれぞれは、セレクタースイッチを介して1個のレシーバーまたはトランスマッターに固定接続され、トランスマッターは、セレクタースイッチおよびサーチュレータを介して放射素子に接続され、レシーバーの受信モードの異なる周波数および符号化技術に対応して、異なる周波数および/または異なる信号符号化技術を使用することにより、放射素子への交互の接続が可能となり、互いに異なる方向に少なくとも2つの独立したビームを形成することが可能となり、前記複数のアクティブ両面フェーズドアレーは、水平面および/または垂直面に対して距離をおいてそれぞれ配置される、レシーバー/トランスマッター。

【請求項2】

請求項1に記載の複数の二次元A P A sを有するレシーバー/トランスマッターであって、前記アクティブ両面フェーズドアレーの2つのパネルは、垂直面に対して同じ角度で配置可能である、複数の二次元A P A sを有するレシーバー/トランスマッター。

【請求項3】

請求項1に記載の複数の二次元A P A sを有するレシーバー/トランスマッターであって、レシーバー/トランスマッターの上部および/または下部に配置された少なくとも1系統のレーダーまたは通信ステーションに追加的に設けられ、上方向および/または下方

向に放射するために、2面を走査することができるよう製作された、複数の二次元A.P.A.sを有するレシーバー／トランスマッター。

【請求項4】

請求項3に記載のレシーバー／トランスマッターであって、レーダーまたは通信ステーションは、二次元アクティブ片面フェーズドアレーとして製作される、レシーバー／トランスマッター。

【請求項5】

請求項3に記載のレシーバー／トランスマッターであって、レーダーまたは通信ステーションは、請求項1のトランスマッター／レシーバーモジュールを備えた二次元アクティブ両面フェーズドアレーとして製作され、水平面および垂直面に対して、複数のレシーバー／トランスマッターを距離をおいてそれぞれ配置した、レシーバー／トランスマッター。